

2024年度日本海洋学会第1回理事懇談会議事録

日時: 2024年7月8日(月) 13:30~15:00

場所: Zoomを利用したオンライン開催

出席者: 江淵会長、伊藤(幸)、岩本、岡(顕)、岡(英)、川合、久保川、齊藤、土井、中野、野口、長谷川、渡部、事務局(毎日学術フォーラム: 米岡)

議題

1. 議事録(案)確認(中野理事)

2024年度の第1回理事会議事録(案)、2024年度春季評議員会議事録(案)、2024年度会員集会議事録(案)が確認され、承認された。

2. 審議事項

(1) 入退会について(岡(英)理事)

2024年4月から2024年5月の入会者(17名)と退会者(11名)が承認された。2024年5月末時点の会員数は1,365名。

(2) シンポジウムの後援・協賛等について(岡(英)理事)

後援・協賛等について3件、転載許可1件の依頼があり、承認された。

(3) 募集・推薦等の依頼(岡(英)理事)

公募・推薦12件の依頼があり、学会ホームページにて公開、メーリングリストにて配信等の対応がなされたことについて報告された。その他10件(郵便物)について報告された。

(4) 日本海洋学会ホームページのサイトポリシー及びプライバシーポリシーについて(川合理事)

日本海洋学会ホームページのサイトポリシー及びプライバシーポリシー案について提案され、承認された。

(5) 2024年度後期若手海外渡航援助の募集について(原田副会長 代理岡(顕)理事)

募集案が提案され、承認された。

(6) その他

Web選挙の被選挙権について(中野理事)

被選挙権は昨年同様、名簿表示を許可にした場合に限りたいという提案があり、承認された。

授賞式・記念講演について(中野理事)

授賞式・記念講演のスケジュール案が提示され、承認された。

環境科学賞の名称変更について(江淵会長)

宇野木環境科学賞への名称変更を進めて行くことについて提案され、承認された。

3. 報告事項

(1) 庶務 (岡(頭))

吉田賞受賞者への旅費支給についての相談があった。

(2) 会計 (野口理事)

複数の法人用口座の開設を進めていることについて報告された。

江淵会長より早めの事務委託経費の検討の依頼があった

(3) 研究発表 (土井理事)

大会準備状況が滞りなく進んでいることについて報告された。

来年度は大会 web サイトを更新希望であることについて報告された。

(4) 選挙(中野幹事)

Web 選挙のために 7 月末までの会員情報等の更新依頼を通知予定であることについて報告された。

(5) 編集

① JO (齊藤編集委員長)

以下について報告された。

- ・ JO(Vol.79(1) から Vol.80(3))の発行状況および Vol.80(4)の発行予定。
- ・ 2023 年 1 月から 2024 年 6 月までの投稿・受理状況。
- ・ 3 件の特集セッションの依頼があったが JO にすぐわないため断ったこと。
- ・ Journal of Oceanography Most Cited Paper Award 二論文の筆頭著者に賞状および副賞が Springer-Nature 社から贈られたこと。
- ・ インパクトファクターが 1.3 に減少し、投稿数減少が懸念されること。

② 海の研究 (久保川編集委員長)

以下について報告された。

- ・ 海の研究 33 巻 3,4 合併号を 7 月 15 日に発行する予定であること。
- ・ 現在の投稿・受理状況は受理論文 0 編、審査中 5 編、依頼原稿待ち 2 編。
- ・ 33 巻 5 号を 9 月 15 日に発行予定。
- ・ 「解説」の英語表記を「Expository Paper」としたこと。
- ・ 表紙裏・裏表紙裏の記載を法人化に合わせて変更したこと。

③ JOS ニュースレター (岩本編集委員長)

JOS ニュースレター発行状況、及び第 14 巻 2 号(2024 年 7 月発行)の発刊に向けた準備について報告された。

(6) 広報委員会 (川合理事)

JpGU ブースを開催したこと等について報告された。

(7) 海洋環境委員会 (野口理事)

2024 年度の青い海助成事業である「カイアシ類の採集・観察方法および系統分類・進化・生態を学ぶ学生向けワークショップ」が開催され好評であったことについて報告された。

(8) 海洋環境問題研究会 (安中理事 代理江淵会長)

会則変更に関してメール審議中であることについて報告された。

(9) 沿岸海洋研究会（大林理事 代理江淵会長）

法人化による学会事務局への事務委託に伴い、研究会で支払う経費が昨年までに比べ大幅増額になっている。これに関して、研究会事務担当と学会事務局の間で現在交渉されていることについて報告された。

(10) 教育問題研究会（川合理事）

JpGUでのポスター発表、女子中高生夏の学校参加準備、及びサイエンスアゴラへ申し込みについて報告された。

(11) 男女共同参画（野口理事）

第6回輝く女性研究者賞（ジュン アシダ賞）の学会推薦について1件の希望があり申請手続きを行ったことについて報告された。

(12) 水産・海洋科学研究連絡協議会（江淵会長）

6月に連絡協議会が開催され、議長が変更になったことについて報告された。

One Argo のシンポジウムへ協議会として協力要請を行っていることについて報告された。

(13) 沿岸環境関連学会連絡協議会(大林理事、代理江淵会長)

来年度の沿環連シンポとして、海洋環境問題研究会から提案した「有明海シンポジウム：有明海異変の原因・出口はどこまでわかったのか？（仮）」が受理されたことについて報告された。

(14) 防災対応（土井幹事）

JpGU で union セッションを行ったことについて報告された。

(15) リクルート戦略ワーキンググループ（渡部理事）

最近多い大学受験に関する質問に対応するため、若手会員のボランティア募集を考えていることについて報告された。

(16) その他

原田副会長の南極観測隊隊長として不在の時期の対応について(江淵会長)

庶務を中心に引き継ぎをお願いしたいという依頼があった。

以上